

受領 令和3年3月1日 12時58分

通告番号 (6) 1/2

令和3年3月1日

読谷村議会

議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
國 吉 雅 和 印

一般質問通告書

第505回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルスワクチン接種事業の目的・内容・取組み・流れ等を含めた説明を求める。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスワクチン接種の下記村民への予定接種率と予定人数をそれぞれ求める。</p> <p>ア 医療従事者</p> <p>イ 65歳以上の高齢者</p> <p>ウ 基礎疾患がある人と高齢者施設の職員</p> <p>エ 60～64歳</p> <p>オ 上記以外の16歳以上</p> <p>(3) 新型コロナウイルスワクチン接種事業で想定される課題を求める。</p>	
<p>2 昭和53年に無医村解消を目的として開所した村立診療所を4月1日より「一般社団法人 楽和会」(代表者 多鹿昌幸氏)に指定管理することについて、石嶺村長の思いを伺う。</p>	
<p>3 令和3年度施政方針にある屋内運動場の施設設備に向け、まちづくり構想策定支援事業基本計画策定について</p> <p>(1) 3年連続3月定例会で屋内ドーム型施設設置事業の推進を訴えてきた立場から村民への開示を求める。</p> <p>(2) まちづくり支援事業の事業予定箇所と概要を求める。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>4 3月1日の琉球新報記事によると、学校防災の水準達成アンケートで読谷村は「今後、見直す予定」の15市町村に含まれる。学校防災水準達成の課題と水準達成予定を求める。</p>	
<p>5 第2回目の沖縄県立特別支援学校新設について</p> <p>(1) 第503回(12月)定例会で2022年度から2031年度に及ぶ次期「県立特別支援学校編成設備計画」において、本島中部地区に新たな知的障がい特別支援学校設置の方向が示されたとの学校指導課長の答弁でした。新設の要因を伺います。</p> <p>(2) 村民の子弟が中部地区知的障がい特別支援学校に在籍している生徒数を求める。(幼稚園・小学校・中学校)</p> <p>(3) 特別支援学校への通学方法と読谷からの所要時間を求める。</p>	
<p>6 第500回(9月)定例会の古布収集事業について</p> <p>(1) 古布収集事業実施自治体及び美化センターとの調査結果を求める。</p> <p>(2) 西原町はシルバー人材センターが古布収集し、業者の買取り価格は3円/kgで実施。読谷村が事業展開できない要因を求める。</p>	

※重複質問(答弁)の場合は、「○番議員に答弁した通りである」の内容で構わない。